

2017年10月政情(内政・外交)

1 内政

(1) 民主変革(CD)、党大会代理人の選出

15日、CDは、党内選挙を実施し党大会代理人(任期5年)を選出した(投票率約20%)。2008年8月以降、党大会代理人は選出されず、2013年11月以降失効状態が続いていた。同党は、2018年初めに党大会を開催し党執行部を選出する見通し。

(2) ワケッド・グループのスキャンダル

ア 昨年5月、コロンビアで身柄を拘束されたニダル・ワケッド氏は、20日、米国において司法取引に合意。資金洗浄(領収書偽造)を認める代わりに麻薬取引による資金洗浄の容疑による訴追を免れる見通し。

イ 24日、米財務省は、エストレージャ・デ・パナマ紙をSDN規制リストから削除したと発表した。ワケッド・グループの持ち分は、18日にエドアルド・キロス社主(パナメニスタ党、キロス前第一副議長の弟)、エロイ・アルファロ元駐米パナマ大使(PRD)とサムエル・ルイス・ナバロ元第一副大統領(PRD)が設立した基金が管理することとなった。

(3) オデブレヒト社による贈賄事件

ア 26日、裁判所は、検察庁による捜査期間延長請求を却下した。ポルセル検事総長は、今般決定に反発し不服を申し立てている。

イ 30日、当地各紙は、ハイメ・ラッソ元駐韓パナマ大使が、2009年選挙においてオデブレヒト社からパナメニスタ党に7億ドルが渡ったと捜査当局に証言した旨報じた。バレーラ同党総裁(バレーラ大統領実兄)は、ラッソ元大使の証言を承知していない旨発言した。また、バレーラ大統領は、すべての献金は選挙裁判所へ適切に報告されている旨述べた。

2 外交

(1) 中国商務副部長のパナマ訪問

ア 10日、ナバロ外務次官及びゴンサレス貿易産業次官は、パナマにおいて、ユ・ジャンウア(Yu Jianhua)中国商務部副部長と会合し、貿易、経済及び技術協力に関して協議を行った。

イ 同外務次官は、運輸、教育、エネルギー及び人材育成の分野における(中国との)共同プロジェクトに関心を有する旨述べ、パナマにおけるインフラ及びエネルギープロジェクトのF/S実施に向けて、中国との覚書を交わすことが重要である旨強調した。また、ユ副部長と会談したサイン・マロ副大統領兼外務大臣は、パナマと中国の関係を早急かつ堅実に進展させるため熱意を持って取り組んでいる旨述べた

(2) パナマ・ホンジュラス首脳会談

ア 18日、バレーラ大統領は、パナマを訪問したエルナンデス・ホンジュラス大統領と会談を行い、住宅建設、観光及び農牧産業への支援及び社会開発プロジェクトへの公共投資に関するグッドプラクティスについて協議した。

イ 同会談に同席した住宅省、農牧開発省、経済財務省及び観光庁担当者から、バレーラ政権が進める低所得者向け住宅建設プロジェクトをはじめ、農牧産業及び住宅購入への優遇措置が経済成長に与える影響について説明を行った。

(3) サンホセ島の化学兵器の撤去完了

ア 6日、大統領府は、サンホセ島の化学兵器の撤去作業を完了したと発表した。

イ 本年7月、パナマ政府は、化学兵器禁止機関(OPCW)に遺棄化学兵器として登録していたサンホセ島の化学兵器を老朽化化学兵器として登録変更し、米国の援助により撤去作業を行うと発表していた。

(4) 第1回SICA・チリ首脳会合

ア 12日、バレーラ大統領は、チリで開催された第1回SICA・チリ首脳会合に出席した。同大統領は、SICA議長国を務めるパナマの大統領として、「SICAは、国境を越える組織犯罪へより効果的に対処し、SICA諸国に発展をもたらすためチリと連携していく。また、2019年にパナマにおいて開催されるワールドユースディにチリの青少年が参加することを期待する」旨述べた。

イ また、同首脳会合において、バレーラ大統領は、パナマとチリの共同基金を基に、SICA加盟国へ国境を越える組織犯罪の捜査に係る人材育成のためのプログラムを創設する旨明らかにした。

ウ 同首脳会合には、バレーラ大統領、エルナンデス・ホンジュラス大統領他、エルサルバドル、ドミ(共)、コスタリカ、ベリーズ及びグアテマラから外務大臣及びニカラグアから外務次官が出席した。

エ 首脳会合に先立ち開催された第1回SICA・チリ政策協力対話に出席したサイン・マロ副大統領兼外務大臣は、「パナマがSICA議長国を務める本年下半期において、パナマは、SICAの体制強化及び中米地域の治安強化等を優先課題として取り組んでいる。SICAは、チリのようなパートナーとの間で国境を越える組織犯罪への対策についての知見及びグッドプラクティスを共有することに関心を有する」旨強調した。

(5) ナタリア・カネム女史(パナマ人)の国連人口基金(UNFPA)事務局長就任

ア 3日、国連総会は、グテーレス事務総長によるナタリア・カネムUNFPA事務局長代行の同事務局長への指名を承認した。

イ 同女史のUNFPA事務局長への就任は、パナマ人女性が国連高官に就任する初のケースであり、グローバル開発アジェンダにおけるパナマの役割を強化するものである。また、バレーラ大統領が推進する女性のリーダーシップ及びエスニック・マイノリティの代表性を強化するものでもある。

(6)ラスベガスにおける銃乱射事件

2日、パナマ政府は、外務省プレスリリースを通じて、米国ラスベガスにおいて生じた銃乱射事件を非難し、犠牲者遺族及び関係者への弔意を表明した。